まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

Instagram　facebook

日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

2022 年　11 月号

ご協力ありがとうございます！

【10 月の寄付品】(敬称略)

シャープ社友会、ハートフィールドさかもと、諸江葉月

中村恭子

【新入会】

株式会社ファブコン九州、倉松酒販株式会社

金網ネットの寄贈をいただきました。

日頃よりオイスカ活動に支援を頂いています、福岡リバティライオンズクラブのメンバーで筑豊金網製作所の西島様より、金網ネットの寄贈をいただきました。今回いただきました金網は400～500m の長さがあり、センター周辺の農地ではイノシシなどの獣害があるため、その防除柵として利用させていただきます。大変貴重なものを寄贈していただき有難うございました。(豊田)

農場の研修風景

先日、福岡市内の福祉施設から 5 名の子どもたちがサツマイモの収穫体験にきました。今年のサツマイモの出来はあまりよくなかったのですが、ずんぐりしたあまりきれいではないサツマイモをみんなで楽しく収穫していました。その子どもの中に恐らく中学生ぐらいの年齢でしょうか、うちのインドネシア研修生のリズキにむかってずっと飛行機について話をしているのです。その内容は「福岡空港に ANA の OOO 番の飛行機が来ます。ピーチの OOO 番の飛行機も来ます」と専門的な誰にもわからないような内容をずっと話しているのです。でも、インドネシアのリズキは、そんな彼に向って「そうですか、そうですか」と優しく返事をしているのでした。リズキにとっては何を話しているのかさっぱりわからなかったでしょうが、何一ついやな顔をせずに笑っていた彼女をとてもすばらしいと思いました。オイスカの農園には、毎年様々なところから収穫体験や作業体験に来ますが、若干の障害を持たれた方にも優しい農園でありたいと思います。(豊田)

体験農園だより

10 月に入り、だいぶ涼しくなりました。そのおかげか、作業日以外でも畑にお越しになる方が増えたように思います。9 月上旬に植えたジャガイモやブロッコリー・キャベツなど、すくすくと育ち、参加者の皆様も収穫が待ち遠しいようです。また昨年度は成育が良くなかったホウレンソウもしっかり発芽してくれました。しかし夏の雨が少なかったせいか、ニンジンの発芽が例年に比べると少なくなってしまいました。オイスカのニンジンというと甘みがとても強く、ニンジン嫌いな子どもも喜んで食べてくれると好評の野菜の一つでした。残念ではありますが、芽が出てくれたニンジンを大切に育てたいと思います。(飯川)

11 月の予定

2 日	バルーンフェスティバル
4 日	舞鶴高校交流会
6 日	大野城スピーチコンテスト
12 日	第 14 回収穫感謝祭・秋
14 日	長崎産業視察
19 日	生松台ふれあい市、エコライフステージ北九州
26 日	脇山小学校餅つき
27 日	脇山校区運動会
29 日	福岡県庁農産物販売会(30 日まで)
30 日	JOCA 研修(1 日まで)

鬼木大明神　今月の一句

誰もが少しずつでも自分を変えたいと頑張っているものだ！ただ頑張るだけではいけない。何か一つ良い習慣を身につけよう！その一つはできれば本当にしたい目標(目的)で自身で探し求め、確かめてみるものにしよう！まずはその習慣を意識し乍ら毎日続けよう(例えば 3 カ月位)そのうち無意識のうちに続けられて定着化することができる。正に「継続は力なり」である。たった一つの良い習慣を身につければやがて他の良い習慣が次々と連鎖して身についていくものだ！頑張るな！無理するな！三日坊主になるな！ある言葉「もくもくと小さな歩みや！かたつむり」そうして「習慣で僕はここまで変えられた！」と叫ぶことができる自分になろう！！

フリースクール玄海生徒海外研修中 in フィリピン

9 月 22 日よりフィリピンのオイスカバゴ研修センターで研修中のフリースクール玄海の生徒 2 名は 1 ケ月を過ぎ生活にも少し慣れてきました。現在ハイスクールでの英語の授業や農業体験、養蚕農家訪問、またマングローブ試作やホームスティなど多くの体験をしています。彼らにとって初めての経験ばかりで、日々研修に向き合い学生との交流も深めています。またネグロス島最大のお祭り「マスカラフェスティバル」にも参加をしました。これからもしっかり勉強しながら地域の伝統文化にも触れ、たくさんのことを学んでください。（満川）

↑研修センターでの交流

←英語の授業に参加

マスカラフェスティバルに参加

「朝倉の未来につなぐ環境フォーラム」を開催

10 年目を迎えた「グリーンウエイブ朝倉水源の森創り」。オイスカ朝倉推進協議会が主体となって実行委員会(会長、栗原渉)を立ち上げ、地元朝倉にて子ども達を主体とした植林活動を行ってきました。西日本研修センターの研修生も毎年 3 月に実施される植林活動には参加し、地域の学生(中学、高校)も含め、寺内ダム上流の旧畜産団地跡地で桜の樹を植えています。既に10ha に 1300 本の植林を行い、春には桜の花があちこちで見受けられます。今回のフォーラムは、活動に参加している朝倉東高校にて文化祭のスタートプログラムとして開催。同じく朝倉高校、朝倉光陽高校の生徒も参加し、盛大なフォーラムとなりました。当日はオイスカの研修生、西日本支部の瓜生会長も参加頂き、オイスカ活動の紹介を含め、環境への思いをお話頂きました。国連が提唱するグリーンウエイブ活動の為、今回は国連生物多様性事務局長のムレマ氏からもビデオメッセージを頂き放映しました。フォーラムの終盤では、3 校の代表によるパネルディスカッションが行われ、それぞれが取り組む環境への対応を説明。まとめとして、3 校による「自然環境を未来につなぐ環境宣言」を林裕二朝倉市長に手渡しました。グリーンウエイブ朝倉水源の森実行委員会の皆さん、朝倉推進協議会の皆さん、今後もオイスカとして一緒に活動します。(廣瀬)

九州電力生活協同組合宿泊研修

10 月 18 日～20 日にかけて、毎年受入れを実施しています九電生協の役員の方 9 名を対象にした宿泊研修が実施されました。この研修は、海外研修生と交流を深めながら、「社会貢献活動」の一環として実施されている事業で、毎年センターの農場運営に大変貢献していただいております。今回の内容は、例年通り野菜の収穫、販売準備から農場の片付け作業、稲刈りまで幅広い作業に取り組んでいただきました。

また、2 日目の夕食時には研修生との懇親会を行い、その席で毎年頂いています寄付金の贈呈式も行われました。その後、研修生と一緒になって歌ありゲームありダンスありの楽しいひと時を過ごしていただきました。今回参加していただいた役員の皆様は、田中理事長はじめ本当に積極的に優しく研修生に接していただいたため、研修生にとっても笑顔が絶えない楽しい時間を過ごさせていただき、本当に良い思い出づくりができました。(豊田)

寄付金の贈呈

ガールスカウト宿泊研修　10 月 8 日から 1 泊 2 日でガールスカウト福岡県第 18 団の団員 20 名程度の方が来所をされました。ガールスカウトの皆さんは海外の研修生たちと芋ほり作業をしたり、交流会ではお国の紹介をするなど熱心に説明をしていました。またガールスカウト独自の活動も入れながら、和やかな研修会になり研修生にとっても思い出に残る交流ができました。(満川)

サツマイモの収穫

国の紹介

日本語のようす⑥

A クラスは、12 月の日本語能力試験において、N4 を受験します。語彙や漢字がわからず、読解の問題に苦戦しています。中には読み解いて計算をする必要がある問題もあり、頭を抱える研修生もいます。語彙や漢字は日々の学びの成果が表れると思うので、毎日頑張ってほしいです。そして、11 月 6 日の大野城スピーチコンテストの練習も佳境に入ってきました。当日、ひどく緊張しないことを願います。**B クラス**は、日本語能力試験において、N5 を受験します。やはり、ある程度の長さの日本語を読むことに苦戦しています。とはいえ、ひらがなカタカナの読み書きができなかった研修生が、自分で日本語を読み解き、正解を導くこともあり、成長を嬉しく思います。がんばれ、研修生！（立石考子）

熊本暮らし人まつり「みずあかり」見学

10 月 8 日、9 日の 2 日間にわたり、熊本暮らし人まつり「みずあかり」2022 が開催されました。このお祭りは「竹・火・水・ろうそく」といった熊本の資源を生かした灯りの祭典で、熊本城周辺の秋の夜には通常 2 日間で 5 万 4 千個のろうそくが灯り、熊本の魅力再発見に繋がっています。このみずあかりはオイスカ熊本県推進協議会も中心的に取り組み、今年は海外の研修生たちも 2 年ぶりに見学しました。また熊本県推進協議会では熊本発ソーシャルビジネスをモンゴル総局と連携して、「熊本×モンゴルプロジェクト」もはじまり、石原副会長はじめ熊本未来創造基金の宮原美智子理事が中心にハンドメイドに携わる、モンゴル女性グループとのフェアトレードをスタートしました。今回オイスカモンゴル総局のトゥメンさんが熊本の宮原様の事務所を訪問して今後の打ち合わせをしました。これからソーシャルビジネスのモデルケースとして広がっていくことを期待しています。（満川）

左：トゥメンさん　右：宮原さん
熊本×モンゴルプロジェクト事務所

灯篭の下で記念撮影

熊本城見学

石原副会長よりご説明

ホテルオークラ福岡　社員（3 年目）研修

10 月 14 日（金）、昨年から実施しているホテルオークラ福岡の 3 年目の社員の方を対象にした、オイスカでの 1 日体験研修が今年も実施されました。今回は様々な部署より 13 名の社員が参加し、研修生との交流から料理づくり、サツマイモの収穫体験など、日頃の業務では体験しない「非日常的」な経験をしていただきました。最初、センターに到着した社員の皆さんの顔は、ちょっと不安そうな感じで控えめな様子なのですが、研修生からの国の紹介を聞いてお互いに理解を深め、そして料理づくりでは、持ち前の技術と段取りの良さで研修生を圧倒し、最後のサツマイモの収穫では、いい汗をかきながら一生懸命収穫をしてくれました。わずか 1 日の体験でしたが、研修生と楽しい交流のひと時を過ごしてもらうことができてとてもよかったです。（豊田）

↑国の紹介

↑モンゴル料理を作っているところ

世界平和パゴダ見学　みなさんこんにちは、私はミャンマーのティンです。10 月 11 日に北九州の門司にある世界平和パコダにミャンマーの研修生と訪問しました。この日はお坊さん二人に会い説明を受け心もリラックスしました。このパコダは 1958 年にミャンマー様式の寺院として建てられ、パコダとは英語で「仏塔」を意味し、塔の高さは 27 メートルあります。塔の先にはダイヤモンド・ピナクルが付いていて、クリスタルなどの宝石が輝き、ミャンマーより派遣された僧侶により毎日祈りが捧げられています。私たちもミャンマーがこれから早く平和になるよう願いを込めてお祈りをしました。世界平和パコダは関門海峡のすぐそばにあるステキなところです。皆様も一度行かれて見てください。（ティン）

世界平和パゴダ

ティンさん　僧侶　ウィンさん

←パゴダでお参り

-オイスカ会員ご紹介-　オイスカ佐賀県推進協議会　会長　島松　孝夫様

今回のオイスカ会員さんの紹介は、オイスカ佐賀県推進協議会の島松孝夫会長です。島松会長は、長年にわたってオイスカ佐賀県推進協議会の会長として、オイスカの発展に貢献していただいております。

島松会長(左から 2 番目)

オイスカへの入会のきっかけ　前会長である長沼富士男氏（元佐賀共栄銀行相談役）に30年前にロータリークラブで出会いました。長沼氏の人間性にとても惹かれ尊敬し、是非とも学ばせてもらいたいと思い、氏が熱心に応援を続けていたオイスカに平成4年に入会しました。

オイスカ佐賀県推進協議会の活動について　海外植林活動（オイスカ佐賀ラブグリーンの翼）を大きな活動の柱としていました。これまでに年に 1 回のペースで 24 回開催しました。コロナ禍のために、令和 2 年以降この活動は休止しています。令和 4 年は「オイスカ海岸林再生ボランティアツアー」を実施しました。また、オイスカ西日本研修センターの海外研修生との交流も積極的に実施しており、国際料理交流会や佐賀県でのバルーンフェスティバルへの招待など、研修生との交流を毎回楽しみにしています。令和 2 年には「佐賀県議会オイスカ国際活動推進議員連盟」が発会しました。佐賀県でのオイスカ活動に大きな弾みがつくと思います。

今後のオイスカ活動について期待すること　オイスカ精神を大切に守り、継続していただきたい。

これからのオイスカ佐賀の活動について　佐賀の皆様にオイスカのことを広く伝えていきながら、西日本支部を中心に九州全体を盛り上げていくことに協力出来たらと思います。

オイスカ海外 OB 研修生に応援メッセージ　これからも OB との絆を大切にしていきます。佐賀の地からこれからも応援しています。

以上、島松会長へのインタビューを通してご紹介をさせていただきました。島松会長の言葉や思いをしっかりと受け止めながら、オイスカ佐賀県推進協議会の更なる飛躍に努めてまいりたいと思います。

佐賀県議会オイスカ国際活動推進議員連盟研修会

10 月 28 日、佐賀県議会オイスカ国際活動推進議員連盟交流会のご招待で佐賀県農業大学校の視察に行きました。当日は 9 名の佐賀県議の方が参加されました。初めに佐賀県の特産品や農業大学校の説明を校長先生に紹介していただき、その後農場の見学をしました。農業大学校のハウス栽培の野菜はコンピューターで温度、湿度、風などが管理されており、最新技術での栽培に研修生たちは大変驚いていました。センターで見たことがない大きな農機具を見て写真を撮ったり試乗したりして嬉しそうな様子でした。視察の後は佐賀県庁へ移動し、視察の感想を一人ずつ藤木議長に話しました。一人一人にコメントやアドバイスを下さり、研修生は頑張って理解しようとしていました。また議会棟の見学もさせていただき記念写真を撮ったり、議会の仕組みを教えていただきました。

最後に藤木議長のお宅で BBQ 大会をひらいていただき、佐賀県議の皆さんといろいろな話が出来ました。佐賀県議会とオイスカ佐賀の皆様、研修生に視察や交流の機会をいただきありがとうございました。（園田）

農業大学校で記念撮影

機械に乗ってみました！

議会棟の見学

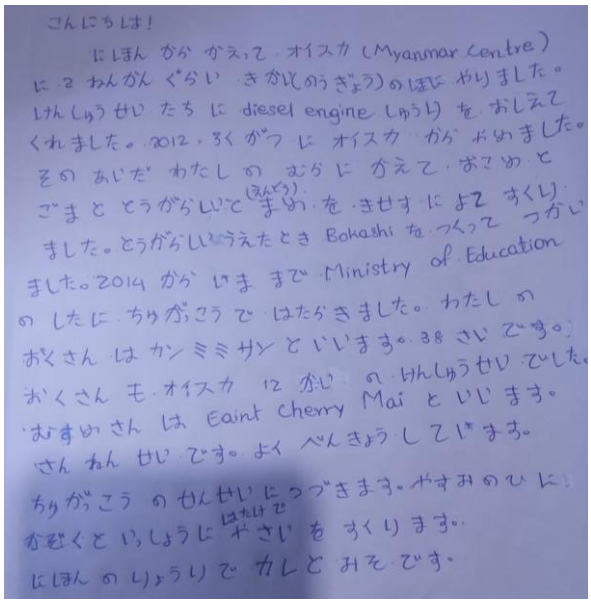
藤木議長のお宅で BBQ

流鏑馬行事見学　10 月 16 日に福岡の那珂川市にある現人神社で流鏑馬神事が行われ見学をしました。この行事は疾走する馬上から、鏑矢と呼ばれる弓矢を打ち的に当てる日本の伝統武術です。研修生たちは緊張した面持ちの中、矢を放つ瞬間をカメラに収めるなど歓声を上げていました。今回の流鏑馬行事にお招きいただきましたオイスカ会員の川上様には貴重な機会をいただきありがとうございました。（満川）

OB の紹介

今回紹介する OB 研修生は、ミャンマーのミンさんです。ミンさんは 2009 年から 2010 年にかけて在籍した研修生で、その年の研修生は個性派ぞろいで楽しかったですが、その中でうまくみんなをまとめていく存在でした。

今回この記事を作成するにあたり、ミンさんにメッセンジャーでインタビューをしたところ、写真のように上手な日本語で返事を送ってくれました。帰国してから今まで殆ど日本語を使う機会がなかったと思いますが、10 年以上たってもこんなに上手に日本語が書けることは素晴らしいと思います。それでもちょっと読みにくので少し補足したいと思います。



こんにちは！
にほん かが かえって オイスカ (Myanmar Centre)
に 2 ねんかん ぐらい きかい(のうぎょう)のほに やりました。
けんしゅうせい たち に diesel engine しゅうり を おしえて
くれました。2012・3くがつ に オイスカ が やめました。
その あいだ わたし の むら に かえって おこめ と
ごま と とうがらしで まめ(えんどう) を きせすに よって すくり
ました。とうがらしうえたとき Bokashi を つくって つかい
ました。2014 から いま まで Ministry of Education
の したに ちゅがこう で はたらきました。わたし の
おくさん は カンミミサン といいます。38 さい です。
おくさん も オイスカ 12 かい の けんしゅうせい でした。
むすめさん は Eaint Cherry Mai といいます。
さん ねん せい です。よく べんきょう しています。
ちゅがこう の せんせい につづきます。やすみのひに
かぞくと いっしょに はたけで やさい を すくります。
にほん の りょうり で カレと みそ です。

ミンさん(右)　　ミンさんの娘さん

（補足） 私は日本から帰ってから、2 年間オイスカミャンマーセンターで農業機械の担当で研修生にディーゼルエンジンなどの修理を教えました。その後、2012 年３月に村に帰って、お米やゴマ、唐辛子、豆などを栽培しました。2014 年から今まで、中学校の先生を続けています。私の家族は奥さんと娘が一人います。娘は３年生です。よく勉強しています。これからも学校の先生を続けながら、休みの日に野菜をつくります。日本の好きな食べ物は、カレーとみそ汁です。

さが国際フェスタ参加

10 月 30 日、さが国際フェスタ(武雄市)でステージと農産物の販売をしました。ステージ披露の前に他の団体の踊りのリハーサルをみて研修生達は緊張感が増していましたが、いざステージに出ると楽しく踊っていて、見ていたお客さんも一緒に踊ってくれました。販売ブースでは農産物、加工品、民芸品を販売しました。ステージの出番が終わった後に研修生達は野菜をもって会場内をまわっていろいろな人に野菜を買ってもらいました。またフィリピン、インドネシア、よさこいの踊りのステージの時には研修生も一緒に踊り、国際フェスタを存分に楽しめたと思います。おまけで武雄温泉をちょっと見学し、できたてほやほやの新幹線も見てきました。研修生は「乗りたい！！」と、いつになることやら！？（園田）

オイスカブースに来て下さった皆様
ありがとうございました！！

インドネシアのグループと記念写真

フィリピンのグループと一緒に踊りました！